



VR バーチャン、リアリティー (はざま隆治)

なったりもする。気が付くといつの間にか姿が見えなくなる方もいて、早起きを共有しているだけに寂しさを感じる。最近は「元気で幸せな日々をお過ごしください」と声ならぬ声掛けをしている。以前、アニメであちこちで良い念を送る人が増える。それが共鳴し合ってエネルギー化し地球を浄化する。という内容の映画を見た。迎えるべき高齢化社会、お互いの幸せを念じ合う社会を願う。(豊見城市)

自衛隊の関係は、非常に重要な課題である。9条の規定はあいまいに表現され、わかりにくい。今後のためにも自衛隊との関係を、わかりやすく誰が読んでもすばいと思えますが、皆さんどうですか。(那覇市)

終戦の日
いつになるやら…
—シユゴン
(北海道・あのね)

こそ重要

記憶だろうか。避災意識の在り方で二つの小学校である。避を行ったことがない。小学校は74人の児童が避難訓練を行って小学校は学校に居た

をしくされた遺族に校舎内を特別に案内していただいたことがある。立ち入り禁止のロープをくぐり、1階の通路から2階に上がると廊下は緩やかな左カーブになっている。カーブに沿って教室が並んでいるが教室の床は下から津波の圧力で盛り上がり、コンクリートが砕け隙間から1階教室がのぞける状態である。汚れが取り払われた教室の黒板、その下には泥をかぶったまま残されている図書、実際に手で触れると静寂の中で子どもたちの笑い声が遠くから聞こえてくるような不思議な感覚にとらわれた。このような悲しみは二度と繰

てを避難させ犠牲を出さなかった。避無だけで一概に結果は明らかなに防災意識と推測できる。大川小学校で娘

全国各地で災害が相次ぎ「未曾有の災害」という言葉が当てはまらなくなったこの日本で、防災訓練の在り方を再考、高齢者や障がい者らが地域の防災訓練に積極的に参加することで、地域の防災意識が高まり、その地域に適した防災組織、地域に適した防災対策が確立される。障害のあるあなたの行動が地域の防災を変えられる可能性があるのです。(浦添市、沖縄大学地域研究所特別研究員、56歳)



東恩納 厚

東恩納組 代表取締役会長

夜中に目覚める。東雲の朗ら朗らに明け行くまで、随分と時間がある。夜具に座り、目を閉じる。昨日の吾が身を三省し、今日を考え、明日を眺める。医師を辞め暇になるかと思えば、そうでもない。

7時半より役員との早朝カンファレンス(EMC)がある。8時よりラジオ体操を行い、引き続き朝礼である。5分ほど挨拶をして、各部署の報告を聞く。締めは、理念とビジョンを皆で唱える。

週の初め、専務の吉平と現場を廻る。経験豊かな彼は、確かな建築の知識と技術を有する。社長の喜納も凄いが、甲乙つけがたい。現場では、先ず安全な作業環境で仕事が行われているかを診る。

施工は危険と隣り合わせなので、安全を最優先する。安全に関しては、常に注意を喚起し、安全パトロールを徹底している。安全一番・作業は二番である。

南風

建築を学ぶ日々

整理整頓されトイレが綺麗な現場は、大丈夫である。専務は、先々で細やかな技術指導を行う。私は、門前の小僧よろしく聞き耳を立てる。また、百聞は一見に如かずで、教科書で勉強したことを現場で理解する。

現場を廻って思うことは、若い人の勉強不足である。現場は、不思議に満ちている。情熱を胸に抱き好奇を目に灯し、勉強する姿勢に欠けている。日々を無為に過ごしていると思えてならない。最近やっとな勉強する人が増えてきた。経験有る者も、謙虚に勉強を続けて欲しい。

建築物は、人を守る器である。建築に携わる者は、命を守ることに認識を心に強く留め置くべきである。私達は、人を守り、心地よく、美しい確かな品質の建築物を創る為に、今日も学び共に汗を流す。

面白き 事もなき世を面白く 住みなすものは心也けり

晋作・望東尼

投稿規定 声・ネットワーク400字、論壇1000字、ティータイム600字。住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記。〒900-8525 那覇市天久905。原稿は琉球新報社オピニオン係に郵送。ファクス098(865)5234、メールkoe@ryukyushimpo.co.jp 問い合わせは同係☎098(865)5175。他紙との二重投稿は厳禁。掲載の可否についての問い合わせには応じかねます。「うそっぱち」は社会部ファクス098(865)5222。